

会 議 録				
平成24年度第2回 社会教育委員の会議	日 時	平成24年5月16日(水) 午前9時30分～11時30分	場 所	小金井市役所第二庁舎 8階801会議室
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出席者	委員	伊藤、小林、佐野、樹、中村、本川、本多、松田 各委員		
	その他	欠席 倉持、田尻 各委員 西田生涯学習部長、井上生涯学習課長、尾崎国体推進担当課長、田中図書館長、大関公民館長		
	事務局	林生涯学習係主事		
傍聴の可否	◎可 ・ 一部不可 ・ 不可		傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
1. 協議事項				
(1) 社会教育団体への補助金交付について				
(2) 地域文庫補助金交付について				
(3) 視察研修について				
(4) 三者懇談会について				
(5) その他				
2. 報告事項				
(1) 都市社連協定期総会について				
(2) 第2次小金井市子ども読書活動推進計画の進捗状況について				
(3) その他				
1. 協議事項				
(1) 社会教育団体への補助金交付について				
(本川議長)				
それでは始める。社会教育関係団体への補助金交付について。				
(井上生涯学習課長)				
社会教育団体からの申請は4団体あり、額は合計で12万円である。補助金の交付決定は社会教育法第13条で、社会教育団体の補助金交付に当たっては社会教育委員の会の意見を聞いて行わなければならないとされており、意見があればお伺いしたい。なお、上から3団体が今回初回の申請で、一番下の団体が4回目の申請である。以上である。				
(本川議長)				
ご質問はあるか。				
(中村委員)				
下の2団体、小金井市立小中学校PTA連合会と小金井市スカウト協議会は、他の団体と異なり右の欄の交付回数が書かれていないがなぜか。				

(井上生涯学習課長)

小金井市立小中学校PTA連合会と小金井市スカウト協議会に関しては、小金井市社会教育関係団体補助金交付要項を根拠に交付しているわけでないため回数制限が無いため回数を入れていない。

(中村委員)

わかった。

(本川議長)

よろしいか。ほかに何かご質問はあるか。なければ、このままでよろしいか。(「異議なし」の声あり)では、特にないということであるので、次の議題に移る。

(2) 地域文庫補助金交付について

(田中図書館長)

地域文庫補助金交付についてご説明する。社会教育法第13条で、社会教育団体の補助金交付に当たっては社会教育委員の会の意見を聞いて行わなければならないとされており、これに基づきご意見があればお伺いしたい。お手元に資料をお配りしている。交付内訳がついて記載してある。図書館では、小金井市地域文庫補助金交付要項に基づき、読書の普及活動や活発化を図るため、図書及び読書に関する研究調査、相談、講習その他の活動を行う地域文庫に対して補助金を交付している。なお、補助金交付対象となっている小金井市子ども文庫サービス連絡会は、地域で活動している文庫サービス7団体で構成されている。今年度については、「子どもと本を結ぶ」という事業に対して交付するもので、金額は3万円となっている。以上である。

(本川議長)

ご質問はあるか。

(中村委員)

今回、数あるこの種の図書関係のサークル・連絡会の中からここを選定された理由はあるか。

(田中図書館長)

これは文庫活動に対しての補助金である。市内に14文庫あるが、その連絡会を構成しているのはこの文庫しかない。できればすべての文庫に分けたいのであるが、3万円しかないのでかなり細かくなってしまう。それで、連絡会を構成している団体に交付している。

(中村委員)

わかった。

(本川議長)

他に何かあるか。なければ次の議題に移る。

(3) 視察研修について

(本川議長)

視察研修については皆様から質問事項をお出しいただいている。そのことについて、伊藤さんに仕分けをしていただくことができたが、ちょっと時間がかかりそうなので、後ほど回ささせていただきたいと思うがご異存ないか。(「はい」の声あり) それでは後ほどということでもよろしく願います。

(4) 三者懇談会について

(本川議長)

三者懇談会が5月24日に開催される。今回は倉持委員にまず講演をしていただき、そしてグループに分かれて意見交換をする形式である。なるべくたくさんのご意見をいただきたいと思っており、こういうことも私どもの纏めがベースになっているので、その点をよくお考えになった上でご意見を発していただければありがたいと思っているのでよろしく願います。この件について何かあるか。

(田中図書館長)

5月24日に三者懇談会をやり、今年度は他に三者合同会議がある。これは11月を予定している。懇談会は議事録もとらないし謝礼も出ないが、11月のほうは謝礼もあり議事録もとる。今までこれはばらばらという感じでやっていたので、今回はこれを通した形でやりたいと考えている。5月にやったものを11月に反映させればいいなと思っている。当日のやり方だが、まず講演会を行って、その後グループに分かれるが、実際、グループでどのようにやるかというのはいまだ決まっていないので、その時の講師の講演を受けて、それぞれグループで何をやるかというのを当日決めていただくかと思っているので、一応、模造紙等、用意はさせていただくので、その時の雰囲気はどういうふうに決めていただけるとありがたい。よろしく願います。

(本川議長)

こういう機会なので、できるだけみんな顔を合わせて、共通認識を持ちながら、社会教育関係団体として活動をこれから進めていきたいと、みんな思っていると思うので、よろしく願います。

(5) その他

(伊藤副議長)

科学の祭典に三者で出そうということで進めているが、皆さん、それぞれ委員会で、5月10日が申し込み締め切りであったが、申請されたかどうかご存じであるか。特に連絡はなかったか。

(田中図書館長)

未確認である。帰って確認してみる。ただ、協議会のほうでは、参加するということで決まっているので、あとは手続の問題だけだと思う。

(大関公民館長)

公民館のほうは、届け出をしたと聞いている。ただ、どんなことをやるのか、最終的な届け出はまだ先だという話である。

(伊藤副議長)

それは6月末が締め切りになっている。

(大関公民館長)

前回と次回、何をやるかというのを今、審議会で検討している。

(伊藤副議長)

よろしく願います。ありがとうございます。社会教育委員の会議も申し込みは済ませた。ただ、出展内容についてはまだ出していない。「不思議なピラミッドをつくろう」という表題で準備を進めたいと思う。展示については、生涯学習の第2次推進計画の内容と第5ブロックの研修会の内容のパネル展示を予定している。その他に過去に出した展示品を出してみようかと思っている。

(本川議長)

三者懇でも少しその時間をとることは可能だろうか。

(田中図書館長)

三者懇のグループ討議が終わって、その後で科学の祭典の打ち合わせをその場でしたいということか。

(本川議長)

そういうことである。

(田中図書館長)

わかった。ではそのように、協議会の会長に伝えておく。

(佐野委員)

前は統一テーマみたいなものを決めてやったが、今回はどうするか。

(本川議長)

そのことについては3月末に三者懇の代表者会議をした。そこで、今年も「いつでも学習、どこでも科学」というような大きなテーマを掲げてはある。それは合意している。佐野さん、それでよろしいか。

(佐野委員)

決まっているのであればそれでいいと思う。

(本川議長)

では、その他ほかにあるか。ないようなら報告事項に移りたいと思う。

2. 報告事項

(1) 都市社連協定期総会について

(本川議長)

出席委員も多いので簡単に確認だけする。議案が3つあった。そのうちの1つ、第3号議案というのが、東京都市町村社会教育委員連絡協議会会則の一部改正についてとい

うことであったが、様々な意見が出て結論が出なかった。生涯学習審議会等の社会教育委員から名称を変えた市が増えてきており、それらに対応するため構成員を「社会教育委員と同様の職務を行う委員も含む」というふうに改定しようという話だ。3号議案を除いて1から6は承認された。3号議案については継続審議となった。

(佐野委員)

やはり再度理事会でしっかりと話し合う必要があるように思う。総会に出す前に内容についての検討が十分にされていないのではないかというイメージを私は持った。もう一度理事会できちっと検討するべきだと思う。

(本多委員)

私も出席したが八王子と多摩市が自分たちの存在の位置を当然に社会教育委員と同じ位置付けであり軽くさっと流して終えてしまおうという雰囲気があった。

(本川議長)

通常、理事会の中で議案の説明があり、その後定期総会に提出される。今回は、その他の議題、多摩市による都市社連協の事業改善みたいなものが大量に出てしまい、その関係で議案の審議が不十分なまま当日を迎えてしまったという事情があった。2年後か八王子が副会長になる。このことについては早い時期に一定の整理をする必要がある。

(小林委員)

感想のようになってしまい申し訳ないが多摩市が会長の立場でありながら、自らにかかわる議案に対して慎重さが不足していたように思う。印象の話で申しわけない。

(本川議長)

他に何かあるか。では次に移らせていただく。

(2) 第2次小金井市子ども読書活動推進計画の進捗状況について

(田中図書館長)

第2次小金井市子ども読書活動推進計画については、第1次小金井市子ども読書活動推進計画に引き続き、平成21年5月に5年間の計画として策定したものである。お手元の資料については、平成23年3月23日に庁内検討委員会を開催し、関係各課から平成23年度の進捗状況の報告を受け、まとめたものである。なお、4月26日には、午前10時から12時半まで、読書関係の市民団体を対象に、第2次小金井市子ども読書活動推進計画の進捗状況などの報告と意見交換会を開催している。そこでいただいたご意見は、図書館での調べ学習図書の実、学校図書館補助員の増員、開館日数の拡大、それから図書室の確保など、多くのご意見が出ている。いただいたご意見については担当課に送付する。報告については以上である。

(本川議長)

何かご質問はあるか。

(佐野委員)

正確なことは今資料がないので言えないが、教育の全体的な費用が足りないので、本

来は図書に使われる費用が違うところにその予算が回っているという報道があるが、そういうことは小金井でもあるのか。

(田中図書館長)

交付金の話だと思うが、学校図書館や図書館に、大まかに交付金というのが来ている。ただ、詳細な金額はこの場ではわからない。市の予算全体の中で執行している。

(佐野委員)

わかった。

(中村委員)

学校図書館補助員の配置ということであるが、この補助員は司書の資格を持っている方なのか。

(田中図書館長)

これは指導室のほうで委託をしており、事業者のほうで職員を配置している。

(中村委員)

関連して、これは学校教育だが、小金井の公立小学校・中学校の学校図書館には、司書は必ずしも配置されていないという理解でよろしいか。

(田中図書館長)

こちらについてもこの場ではわからないので、次回以降報告する。

(小林委員)

1 ページの2の図書館のところで、2の(3)と(5)は両方とも23年度目標が「検討」で、また事業実績が「検討」というのは、理由は予算に関係するからか。

(田中図書館長)

(3)は、今、団体貸し出しをやっているが、もう少し効率的な方法はないかということと、あるいは貸し出しする図書を置くような場所が確保できていない。そういったものを含めて検討しているというところで、施設の広さ等がかかわってくるので、なかなかこれは前に進まないということである。(5)については児童室の改装であるが、これは図書室を改装しないとできないところであるので、ことし24年度に図書館本館は耐震の診断をする。そうすると、25年に設計をして26年に改修に入るので、場合によってはその時点でできるかなと考えている。

(小林委員)

そうすると、この第2次小金井子ども読書活動推進計画の平成23年度の進捗状況は、24年度も作成なさるわけか。

(田中図書館長)

5年間の計画では毎年やることになる。

(小林委員)

今の「検討」の項目、特に私が出した項目については、毎年度載っているということか。

(田中図書館長)

ここに掲げられた項目というのは、この5年間にかかわる項目である。その中で、何年度に充実するとか継続するとか載っているが、たまたま23年度の目標について同じような「検討」になってしまったということである。

(小林委員)

わかった。ありがとう。

(3) その他

(尾崎国体推進担当課長)

国体の進捗状況をお知らせする。4月に行われたウォーキングフェスタ東京で国体のPRをした。詳細は資料のとおりである。また5月10日に立番抽選会が実施された。本年度行われる予選会の出場順番を決める抽選会で、東京都弓道連盟の方々と事務局とで抽選会を開催するものである。以上がホームページの関係である。

その他にも4月13日に第2回総会が開催され、平成23年度事業報告、24年度事業計画、同収支予算案ということで提出し、原案どおりすべて可決した。間もなくリハーサル大会が開催されるが、会場設営の委託業者が本日午後決定する。また、選手・役員等、一般観覧者用の交通機関としてシャトルバスの運行を考えていて、基本的に8日から10日までの3日間、朝7時から夕方5時半ぐらいまで人が多い時間は15分間隔、昼間の時間帯は1時間間隔での運行を考えている。

最後になるがリハーサル大会を円滑に運営するためにスポーツ祭東京2013リハーサル大会の小金井市実施本部を設置するための準備を進めている。市長が本部長となり、副市長及び教育長が副本部長に、また部長職者が本部員として構成しており、市が一丸となってこのリハーサル大会に取り組んでいくということで組織している。実施本部4部会13班に分かれた形で市の職員だけでなくスポーツ推進委員、体育協会、黄金井倶楽部の協力を得て運営する予定である。進捗状況は以上である。

(本川議長)

色々大変だろうが宜しく願います。何か質問はあるか。

(佐野委員)

ロンドンオリンピックに金田選手が出場ということで、市民としては非常に喜ばしいことだと思っている。市民交流センターに懸垂幕に出たが市内事業者等のも協力を呼び掛け、PRに取り組んでいただきたい。限られた予算の中で色々難しいとは思いますが、4年に1度のオリンピックに小金井市民が参加するのだから、もっと積極的に動いて頂きたい。

(西田生涯学習部長)

今お話があったが懸垂幕を、先週、市民交流センターに設置したところである。どうしても先に予算がないと何もできないというのが市の仕組みになっている中で、何とか苦勞して市民交流センターの懸垂幕については対応させて頂いた。他にも第2庁舎の入り口にA0判ぐらいのポスターを掲示している。本庁舎も同様である。今後も汗を流せ

ば出来ることを探し取り組んでまいりたい。

(佐野委員)

わかった。

(尾崎国体推進担当課長)

国体に関してもPRに取り組んでいるところであり、市の職員に対してもオリジナルポロシャツを作成し購入を促しているところである。1着2,000円で、色は白と紺とブルーと黒の4色を用意しており、サイズはSSから3Lまでということで、納品は6月中旬ぐらいを予定している。社会教育委員の方々にも是非ご購入頂き、着てPRしていただければと考えている。詳細は事務局をお願いしたい。

(事務局)

ポロシャツのデザインだが胸に「スポーツ祭東京2013」と、その公式キャラクターであるゆりーとが入り、おそらく左肩に、「KYUDOBASKETBALLKOGANEICITYTOKYO」と入る予定である。以上である

(本川議長)

是非、皆さんにご協力いただきたい。職員は執務中も着用できるか。

(尾崎国体推進担当課長)

総務部職員課と協議し夏にクールビズとして相応しいデザインにすることで着用許可を得ている。弓道とバスケットボールの競技を小金井でやるのだということを浸透させていければと考えている。

(本川議長)

提案だが、社会教育関連委員会ということで、図書館や公民館の方たちも入れたらいいのではないか。

(事務局)

各事務局に伝える。

(伊藤副議長)

科学の祭典でも着ようと思う。

(本川議長)

出向委員からの報告をお願いします。

(樹委員)

放課後子どもクラブの本年度の第1回の会議が行われたので報告させていただく。内容的には、委員長・副委員長の選出と、今年度の放課後子ども教室の実施の要項が出された。実施の内容としてはそんなに大きく目立って変更等はなかった。昨年度は安全対策ということを経営委員会で話してきたが、1年間をかけて市として安全対策を見直していくという流れがあった。学校教育の中の一部として、放課後子ども教室の安全対策についても明記されるということで、今後学校に配布し、各校で対応するようである。避難訓練の実施についても提案した。次回は5月29日に予定されている。以上である。

(中村委員)

小金井市貫井北町地域センター建設実施設計第6回市民検討委員会、これが最後であったが、3月27日に行われた。第5回まででほぼ主要なところは全部決定されたので、第6回では、北町地域センターの建設実施設計概要版についてと、西日対策についてが主な検討課題であった。第6回を含めて、基本設計で8回、実施設計で6回、計14回の会議を開いた結果、5月末には最終的な実施設計概要版として完成できる見込みになった。これで書面にした印刷物が実施設計の概要版としてでき上がる。そして、26年4月に開館予定ということになっている。簡単であるがご報告である。

(本川議長)

長期間お疲れさまであった。それでは、最後に町田市への質問事項についてである。

(伊藤副議長)

皆さんからお出しいただいた質問事項を整理した。詳細は資料をお読みいただきたい。みなさんがよろしければ町田市に送付するよう手配する。

(本川議長)

時間が超過し申し訳ない。他に何かあるか。では会議を終了する。

以上